

第3章 プロジェクトの妥当性の検証

第3章 プロジェクトの妥当性の検証

3-1 プロジェクトの効果



治療を受けた本人の回復だけでなくその家族や近隣者への感染が軽減されることになる。このため、対象地域社会全体にその効果が波及すると判断される。

世界・地域の結核対策への貢献

本プロジェクトは、世界第2位の推定結核患者発生数を有する中国において、WHOの「Stop TB Initiative」に呼応し、日本の技術協力やWHOとの連携・協調を以て実施される予定である。また、西太平洋地域の優先課題として推進されている結核対策に対し、結核患者届出の過半数を占める中国における結核の改善は大きく貢献することになり、西太平洋地域さらに世界の結核対策に寄与することとなる。

日本の無償援助協力の広報効果

供与される抗結核薬の包装、箱、注射器および患者啓発用パンフレットに日本の無償援助であることを明記することとし、またプロジェクト実施サイト全て(全435箇所)に無償援助の銘板を掲示することから、中国国民に広く日本の援助協力が直接理解される。

3 - 2 課題・提言

(1) 技術協力・他ドナーとの連携

中国では、1991年以来DOTS戦略に基づく結核対策プロジェクトを実施している経験を有しているが、対象地域においてはまだ経験を有していない地域が多く含まれること、さらに関連する職員も膨大となるため、診断技術・管理技術レベルを一定に確保する必要がある。このため、中国側からは日本人専門家派遣・研修員受け入れによる技術協力の要請が出されている。さらに、現在すでにWHOからの支援も行われているが、引き続き支援が得られるよう関係機関への働きかけが必要である。

(2) プロジェクト実施予算の確保

サイトである県レベルは315箇所と多いことから、全ての末端プロジェクト実施サイトの予算について中央レベル、各省レベルの監督機関からの十分な指導が重要である。さらに、結核対策は、協力対象事業の期間1年間だけで終了するのではなく、継続して行かなければならないことから継続した予算確保が必要である。

(3) 薬剤の在庫管理

本協力対象事業では、一年間分の抗結核薬を2度に分けてではあるが短期間のうちに各省・自治区に配布することとなっている。

このため、各省・自治区の監督機関は、下位実施サイトのプロジェクトの進捗状況を随時モニターし、地域によって過不足が発生しないよう十分な在庫管理が必要となる。このため、各省・自治区レベルでの適正量を一時保管し下位実施サイトの状況に応じ配分することが必要である。

(4) 次年度の拡大計画と必要薬剤量の算定

協力対象事業は、薬剤1年分が対象となっている。DOTS戦略に基づく結核対策において最も重要な項目は、薬剤の安定供給である。薬剤がとぎれる事態に陥ることは、結核対策に重大な影響を及ぼす。従って、本協力対象事業の対象地域に対する次年度の必要薬剤量と、次年度以降に拡大する地域の選定、薬剤量の試算等を早急に行い、調達方法を確保することが必要である。

